

会 議 録

会議の名称	弥富市総合計画審議会 答申
開催日時	令和6年1月29日(月) 午後1時30分～2時30分
開催場所	弥富市役所本庁舎5階 協議会室
出席者及び欠席者	出席者：藤井勉（会長）、入江容子（職務代理）、鬼頭由美子、児玉日佐美、榊原進、南谷元尚、井上猛、奥村明彦、東嶋とも子、今井いずみ、鈴木裕一（順不同） 欠席者：高谷昇、伊藤肇章、佐藤博孝、伊藤善啓、八木輝治、伊藤恵造、清水香菜、釜田公良、手嶋正章（順不同） 事務局：市長、副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、企画政策課長、企画政策課職員5名、株ぎょうせい1名（順不同） 傍聴人：0名
会議内容	1 開会 2 会長あいさつ 3 答申 4 市長あいさつ 5 その他 6 閉会
会議資料	1 次第 2 第2次弥富市総合計画（後期基本計画）について（答申）の写し

発言者	会議の経過（議題・発言内容等）
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>御連絡いたします。</p> <p>当審議会は、弥富市総合計画審議会運営要領において原則公開することとされており、また、弥富市総合計画審議会傍聴要領で傍聴について規定しております。本日傍聴の方はおられませんでしたので、御連絡させていただきます。</p> <p>1 開 会</p> <p>皆さんおそろいではございませんが、定刻となりましたので、ただいまより、弥富市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます企画政策課長の佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本審議会は、会議録作成のため録音をさせていただきますので、御了承ください。</p> <p>また、発言の際は、お手元のマイク操作を事務局で行いますので、スイッチ等は触れず、挙手にてお願いいたします。</p> <p>なお、会議録及び会議資料は原則公開することとし、委員名簿につきましても、お名前、所属、役職は公開することとしておりますので、御承知おきください。</p> <p>続きまして、欠席委員の御連絡をいたします。</p> <p>本日は、1番 高谷昇委員、3番 伊藤肇章委員、5番 佐藤博孝委員、10番 伊藤善啓委員、13番 清水香菜委員、17番 手嶋正章委員から欠席の御連絡をいただいておりますが、定足数を満たしておりますことを申し添えます。</p> <p>会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に、配席図、委員名簿、答申書の写しをお配りしておりますが、先日郵送にて送付させていただきました本日の次第はお持ちでしょうか。もし、お持ちでないようでしたら挙手にてお願いいたします。</p> <p>本日の審議会におきましては、次第にもございますが、答申を行っていただき、その後、事前に御案内をさせていただいております委員の皆様より、お一人ずつお言葉を頂戴できればと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議はおおよそ1時間強を予定しております。皆様方の御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、早速次第に基づきまして進行させていただきます。次第の2、会長あいさつに移ります。</p> <p>藤井会長、よろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>本日もお集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>8回目になる審議会ですが、変わらず緊張してこの場に座っております。</p> <p>2か年度にわたり作成しました後期基本計画でございますけれども、最初はアンケートの調査からワークショップ、そして、前期の評価、パブリックコメントとここにいらっし</p>

やる審議会の委員の皆様のお意見をいただき、丁寧にまとめていただきました事務局をはじめ、弥富市役所の各部署の皆様のおかげでつくっていくことができたかと思っております。

そして、審議会におきましては、私の進行の中で、本当に皆様の助けをいただきながらいろいろな御意見をいただきました。市側にとっては厳しいと感じる御意見もあったかなと思いますし、市側からの説明につきましては、前期から継続している事業、そして、今後の計画についてしっかりと御回答をいただいたかなと思っております。どちらにおいても、弥富市が今後よくなるためにということが、想いの中心の中にあつて御発言されていることだなと感じておりました。

この審議会の前には、事務局と少し進行の進め方等の打合せ等をするんですけども、毎回、もし委員の皆様から意見がなかったら、時間を待たずして終わることもという話をしながら、全7回、全て時間いっぱい御意見をいただき、むしろ少し時間をオーバーすることもありながら、熱い議論をいただいたかなと思っております。そのような意味で、本当に温かみのある議論をしていただいたかなと思っております。

本日、市長に答申をお渡しして、この後期基本計画、答申することになりますけれども、ここにいる皆様はもちろんのこと、それ以外、多くの皆様関わって、みんなで作った総合計画だと思います。

最後に、私はこの会長というお役をいただき、本当にいい経験をさせていただきましたし、弥富市さんの事業の中では、大学の立場で、学生と一緒に事業を進めていたりします。そのような意味で、弥富市は大好きなまちでございます。ですので、ただ感情的に、この計画をもって、よりよいまちになればと願っております。

本日もよろしくお願いいたします。

3 答申

ありがとうございました。

続きまして、次第の3、答申に移ります。

答申に当たりまして、パネルの準備を行いますので、恐れ入りますが、少々お待ちください。

それでは、藤井会長、よろしくお願いいたします。

第2次弥富市総合計画（後期基本計画）について（答申）。

令和4年8月29日付け4弥企第12号で諮問のありました第2次弥富市総合計画（後期基本計画）について、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり計画案を取りまとめましたので、答申します。

なお、計画の策定及び実施にあたり、下記事項に留意いただき、まちの将来像『地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富』の実現に向け、着実に取組を進められることを要望します。

記

事務局（佐藤企画
政策課長）

藤井会長

	<p>1 急速に進行する人口減少や高齢化への対策を講じるとともに、現在住んでいる市民の暮らしやすさを高めるため、“ひと”と“ひと”とが繋がり、市民一人ひとりが主役となって活躍できる快適なまちづくりを目指すこと。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の流行により抑制・停滞した市民活動等を「楽しい」を前面に再開し、底上げを図っていくこと。</p> <p>3 コロナ禍により市民自らが正確な情報を収集し、適切な行動に移すことの重要性が再認識されたことに伴い、必要な情報を的確・迅速に、市民ニーズに沿った提供を行うこと。</p> <p>4 社会のデジタル化・DXが急展開し、市民生活の利便性が向上する中、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、行政分野のDXを推進するとともに、情報格差の解消や情報の入手・利用が困難な方への支援を行うこと。</p> <p>5 後期基本計画に基づき、毎年、具体的な取組について戦略的な実施計画を定め、より効果的・効率的な取組となるよう進捗状況を的確に把握・検証し、市民に寄り添った行政サービスの提供を展開すること。</p> <p>以上になります。</p>
安藤市長	<p>ありがとうございました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この審議会で一番多く皆様から聞いた御意見というのは、この計画がもっと市民の皆さんに知ってもらふことといった点が大切だという御意見をいただきました。その中で、この計画の愛称でもある「私とみんなの未来計画」とこの計画がなるように進めていただければと思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>4 市長あいさつ</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで、安藤市長よりお礼の御挨拶を申し上げます。</p> <p>市長、お願いいたします。</p>
安藤市長	<p>失礼いたします。</p> <p>ただいま、藤井会長から答申をいただきました。これまで、委員の皆様方には大変御尽力をいただきましたことを感謝申し上げます。</p> <p>第2次弥富市総合計画後期基本計画は、一昨年8月29日の第1回審議会から7回にわたってこれまで熱心に御審議をいただき、本日、答申をいただくまでに至りましたことに心より御礼を申し上げます。</p> <p>本計画では、目指すべき方向性を同じくする弥富市デジタル田園都市構想総合戦略を本計画に包含して、一体的に策定することといたしました。これまで別々の計画として策定し取</p>

り組んでまいりましたが、総合計画と総合戦略が一つの計画に収まることで、市民にとってより分かりやすく、また、整合性が図られた計画になったと認識をしております。

このたびの計画では、新型コロナウイルス感染症の影響やDXの進展等、社会情勢の大きな変化を踏まえております。総合計画に掲げた施策、事業を市民の皆様の御意見、御提案をお聞きしながら着実に進め、弥富市に住んでみたい、弥富市に住んでよかったと言われるような魅力あるまちづくりをしてまいります。

話は少し変わりますが、今日の午前中に、弥富市の大藤小学校、栄南小学校へ行って、治水の授業を1時間してまいりました。これまで5校でしてまいりまして、あと1校を残すのみとなってまいりましたが、弥富市におきまして、海拔ゼロメートル以下というところに住む私たちの生活は、排水機によって守られているんだよということ子どもたちに説明をさせていただいたところがございます。大藤小学校では2限目、栄南小学校では4限目ということで、少し栄南小学校のほうで時間があつたものですから、弥富市が1月4日にいただきました大谷グローブを使って、私も自分のグローブを持って、子どもたちとキャッチボールをさせていただきました。希望する子どもたちのみだったんですけど、栄南小学校全員の生徒がグラウンドに出てきて、一人ひとりとキャッチボールをして、私にとってはいい思い出ができたところがございますし、また、子どもたちにはこのグローブをどんどん使って、ぼろぼろになったら、また大谷選手にグローブちょうだいねと言いましょねということで、キャッチボールをしてきたところがございます。

また、先ほど、藤井先生には、大好きな弥富市というお話をいただきました。ぜひ先生には弥富市に移り住んでいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

最後になりますが、委員の皆様方のますますの御健勝、御活躍をお祈り申し上げますとともに、長い期間にわたり、審議会において、忌憚のない御意見を頂戴し、本日ここに答申をいただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。お世話になりました。

5 その他

ありがとうございました。

藤井会長と安藤市長は席のほうにお戻りいただきますようお願いいたします。

ここで、パネルを片づけさせていただきます。少々お待ちください。

お待たせしました。それでは、再開いたします。

続きまして、次第の5、その他に移ります。

この2年間、一部の委員の皆様におかれましては1年間、審議に携わっていただきありがとうございました。

先に御案内をさせていただいておりますが、ここで委員の皆様より一言ずつ、御感想をいただければと思います。時間にも限りがございますので、名簿順に一人1分程度で、着座にてお願いしたいと思います。

それでは、最初に鬼頭委員からお願いいたします。

事務局（佐藤企画政策課長）

<p>鬼頭委員</p>	<p>どうもお世話になりました。1番だから緊張しちゃって。私、この総合計画というのを、こういう会議の前から、思い起こせば弥富市のいろんな問題、これに携わったの、長いような気がしまして、今日に至ったんですけど、この会議に来たおかげで、いろんな情報をテレビとか何かいろんなところで、気になるところが自分の中に出てきたので、勉強になったかなとは思いますが。ただ、本当にこの時代スピードが速いと思うんですけど、思い起こせば、そんな頃のお話が改善されたのかなとか、そういうことは思いましたが、やっぱり弥富駅の問題なんかでも、何年か経っていますね。いち早く、ああいうのを計画されたなら、もうどんどん国から予算とか言われちゃうんですけど、やっぱり計画したものはスピードをちょっと出してやっていかないと、私なんかも年いっちゃうし、よくなるというのは、スピードがいるかなと感じました。</p> <p>こういうところに関わったおかげで、こういうのを知ったんですけど、広報やとみなんかでも、見ていない人のほうが多いかなとか、なんかすごくマイナスは思っちゃいけないんですけど、すごくプラスにされる人も、人との会話もできるようになりましたので、こういう弥富市を大好きになりたい、好きじゃなくて大、大、大好きってなるぐらいにアピールをどんどんしていくといいかなと感じました。</p> <p>勉強不足なんですけど、思ったとおりしか言えませんが、いろいろお世話になりました。まだどどんいい方向に行くようお願いします。市役所の方も外へ出て見ていただきたいなとも思いましたので、お忙しい中ではありますけど、またよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、児玉委員、お願いいたします。</p>
<p>児玉委員</p>	<p>最初から参加ではなくて、途中からの参加でしたけれども、当初はいろいろな角度から弥富市の未来計画の意見を上げさせていただきましたが、一つひとつの問題が大きくて、専門分野での次世代に託す、どうしたらよいかというのをこれから我々も含めてですけど、考えていかなくはいけないなとつくづく感じました。住民が一人ひとり、考えていかなくはいけない時代になったんだなど、人任せじゃなくて、そういうのをすごく痛感しました。人任せの政策ではなくて、一人ひとりが住民として考える力を自治会でつくり出すのが必要になってきているんじゃないかなと。そうするには、環境問題とか子育て、防災、農業などといった各専門分野になっちゃうんですけど、それぞれの教育、学習が必要で、仕事をして収入を得ることが大事ということが考えられると思います。それには、ゆとりのある、楽しく過ごすことも人間にとっては有意義な人生を歩むことになるんじゃないかなというのもつくづく思いました。</p> <p>例えば、日頃から思っていることは、新しい住民が入りやすいシステムをつくるということで、各自治会がパワーポイントで説明して、自治会運営においても、毎年交代ではなくって、ある程度、慣れた方がやられるといいんじゃないかなと思いました。それには自治会自体がよくなると思うんですね。やりたくない人にやらせても、これはよくなる</p>

と思うんですね。もうその年が終わればいいやという考えの方たちがほとんどだと思います。だから市全体を、そして、自分たちの住むところをもっとよりよい、住みやすいところにしていこうと思うのであれば、ある程度、そうやって思っただけの方が自治会長になり、区長になりというのを、参加してそう思いました。

あと、大変でしょうが、市長さんのほうから、何年かやったら感謝状を送るとか、どんな小さなところでもいいんですけど、役でもいいですけど、やっぱりそうやって感謝状をいただくとその人もすごく励みになるし、俺はやったんだって、そういうことはうれしいんじゃないかなと思いました。

あと、やっぱり弥富の商工会って、こう言っちゃなんですけど、蟹江と比べて商品券の数が少ないとか、いろいろ身近に感じちゃうものですから、同じことをやっていたら意味がないので、領収書とかに当たり番号をつけるとか、とてつもないことをやると、市民が楽しくわくわくするんじゃないかなと思うので、もっとアイデアがある人があったらどんどん出していただいて、市の活性化にしていっていただきたいなと思いました。

あと、防災に関しても、市の特徴をもっと出して、海拔ゼロメートル地帯だけど、住んでみて安全だよというのをもっとアピールすると、もっとこの市はよくなるんじゃないかなと今回参加させていただいて改めて思いました。もっと私自身も学習をしなくてははいけないし、皆さんにアピールしていかなくてははいけないかなと思いました。ありがとうございました。

事務局（佐藤企画政策課長）

ありがとうございました。
次に、榊原委員、お願いいたします。

榊原委員

名古屋港管理組合の榊原です。この2年間、私、後半の1年、参加させていただきました。本当にいろいろとどうもありがとうございました。

管理組合ということで、私どもの仕事は港の施設を整備して、いかに管理、運営するかという立場にいる中で、日頃は港の企業さんだったり、労働者の方々の御意見を聞いて、いかに港をより良くしていくかということで、仕事をしているんですけど、なかなか住民の方々から直接御意見を聞くという機会は正直なくて、そういう意味では、今回この会に参加させていただいて、非常に多くの意見を聞くことができ、大変勉強になったので、どうもありがとうございました。

特に、今回その中で思ったのは、やはり計画をつくるのが目的ではなくて、計画をいかに実行していくかという部分が大事なのかなと思いましたので、今回、この計画の中には、当然港に関する部分もございますので、そこに関しましては、また弥富市さんと一緒に、管理組合もしっかり検討していきたいと考えておりますので、またよろしくお願いします。

また、これを機会に、港に関する御質問とか何か御要望等がありましたら、弥富市さんでも結構ですけど、管理組合のほうに直接御連絡いただいても結構ですので、またこれを、今日を最後というわけではなくて、これからも引き続き、すみませんけど、よろしく願います。どうもありがとうございました。

事務局（佐藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、南谷委員、お願いいたします。</p>
南谷委員	<p>ハローワークの南谷です。昨年度から、この審議会に出席させていただきましたが、委員の皆さん、意見を伺って、気づくことがたくさんありました。いずれにしろ、これから弥富市が一層安心安全で住みよいまちとなって、そして、市民の方が豊かな生活を送れることを願っているところであります。豊かな生活を送るために、ハローワークの役割として、働くというところがありますので、働くこと、雇用については、また弥富市役所の職員の皆さんと連携を図りながら、取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>今年度ですか、10月に障がい者の就労窓口が設置されました。この就労窓口につきましては、障害者就業・生活支援センターさんの御尽力もあるところなんですけれども、弥富市さんが理解をされまして、設置をされたということで、この近辺の自治体ではそういった窓口というのはございません。障がい者の方のためを思って、ワンストップでたらい回しにされることなく、相談ができる窓口をつくられたということで、大変すばらしいことだと思います。よその市町もそういったことをまた進めていくんだらうなと思っております。</p> <p>また引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、井上委員、お願いいたします。</p>
井上委員	<p>海翔高等学校の井上でございます。1年間どうもありがとうございました。</p> <p>学校教育に携わる者として、一言だけお伝えして、挨拶に代えたいと思っておりますけれども、現在、学校というのは教職員の働き方改革というのが一番大きな課題になっていて、学校を預かる身としては、少しでも不要なものを削って、生み出した時間を一人ひとりの子どもの教育の充実のために充てる。それが一番頭の痛いところでもあります。本計画ができて、今後、これを運用に当たっていくわけですが、各種調査であるとか施策であるところは、学校に下ろすものというのはどれもいいものであるのは分かるんですけども、それが本当に学校が行っている本丸である教育活動の邪魔をしないか、あるいは、それが先生方の負担をいたずらに大きなものにしないか、そういったところに思いを致していただいて進めていただくと、子どもたちの笑顔が見られるのではないかなと考えております。</p> <p>1年間どうもありがとうございました。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、奥村委員、お願いいたします。</p>

奥村委員	<p>海南病院の奥村でございます。</p> <p>この審議会、2017年の第1回のときには、構成というところで、教育機関と医療機関というのはなかったと思うんですね。でも、今回、このまちづくりで医療という点で意見を述べろということで、委員に選んでいただいたのかなと思うんですね。あまりこの審議会で、私どもの医療機関からの意見をお伝えすることができなくて申し訳なく思っております。ただ、私どもですと、医療関係以外の方の意見を聞く機会というのは本当に少ないですね。審議会でいろんな委員の皆さんがおっしゃっている意見、どの意見も本当に弥富市をよくしたいという想いが伝わってくる意見でしたので、本当に参考になりました。勉強をさせていただきました。</p> <p>弥富市にある病院として、これから弥富市がもっと、さらに住みよいまちになるように、少しでも医療機関としてお役に立てればと思っております。1年間、ありがとうございました。</p>
事務局（佐藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、東嶋委員、お願いいたします。</p>
東嶋委員	<p>東嶋です。いろいろとお世話なりまして、ありがとうございました。</p> <p>私は防災ということで入らせていただいているんですが、今、御存知のように、能登のほうで大きな地震があって、小学校とか、学校のほうでのこういう防災講座をやっている中で、まず、命を守るのはどうしたらいいんだろうかという話をしたりしているんですね。今日のこの審議会の中でも、防災というのがある程度中心になって、重要項目に入っていてやっていただいている中で、先ほど市長さんから、学校で排水機の話をしていただいたということがありまして、実際、集落排水があれだけでできてきて、弥富市の水害がすごく少ないことというのは、今の大人の親さんたちも知らないことですので、ぜひそういうお話を学校だけではなくて市民に向かってもPRしていただくと、雨が降ると、ここってやはり海拔ゼロということで、すぐに水没するんじゃないかと思われる方があり、そういう方が多いからこそ、線状降水帯など水が来ても今は全然害がないですよ。水害がないので、やらない人が増えているんです、逆に。なので、なぜここが今、水没しなくなったかということを本当に知る必要があることですので、重要項目になっているのはすごくいいなと思いました。</p> <p>全体のことを言いますと、これが総合計画の後期基本計画という位置づけでやらせていただいて、今回すごく御意見がいっぱい出た会議だったなというイメージがあるんですが、もう市側のほうで全て考えられてこの計画はされていると思うので、安心はしていますが、中身を全部、この審議会だけで本当にしっかりと見るだけの時間は、これだけでも少なかったんじゃないかなと思います。なので、私たちができたことというのは、本当にちょっと気がついたところが少しだけ。でも、お話をできたんだとしたら、それが前向きに捉えていただけて、今、つながっていつているんだったら、弥富の今後もしょらず前向きになるのかなと思って、皆さんの今回たくさん出た意見というのは、よかったんじゃないかな</p>

<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>と思います。そこに参加させていただいて本当にありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、今井委員、お願いいたします。</p>
<p>今井委員</p>	<p>今井です。</p> <p>今回、市民側として参加させていただいたんですけど、最初はすごく緊張して、そんな意見を述べることなんて普段ないので、何を言っているんだろうというところから始まり、勉強不足すぎて大変失礼なことを言ったときもあったかと思います。すみませんでした。でも、市役所のこととか、今、市民が抱えている問題とか、そういうのもいろいろ意見で聞くことができ、私にとっては本当にすごい成長につながったなと思います。もっと皆さんと仲良く、行政の方ともそうだし、市民ともそうだし、議会の方ともそうだし、皆さんがお互いのことを理解して、もっと前向きに楽しい弥富とか魅力のある弥富というのをゴール地点にして、みんなで力を合わせてやっていければ、自ずと外から入りたくなる弥富市民になりたいよという方が増えるんじゃないかなと思うので、楽しいというのを掲げて、私も頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、鈴木委員、お願いいたします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>本当に今回の審議会では、市民目線ということで、いろんな気づくことを、逆に、立場としては、あえて躊躇せず、遠慮せず、まずはこの場に出してみたという、それを意識していたので、余計なことをたくさん言ってしまったかとは思いますが、それに対して真摯に職員の皆さんが御回答いただいて、非常に理解が深まったというところは感謝しています。ありがとうございます。</p> <p>一応お伝えしたいのは、最後だと二つですかね。</p> <p>一つは、先ほど、鬼頭さんもおっしゃっていましたが、市の職員の皆さんがもっとやっぱり表に出ていただいて、出ている部署もあると思うんですけど、いろんな場面で、市長も出前講座をやるということで、市民との触れ合いの距離感をもっと近づけていただけたらありがたいなと。市民は市民でどうしても市役所に対してちょっと構える部分はまだあって、用がなきゃ窓口へ行かないし、用のある人はそこで用だけをとにかく早く終わらせたいみたいところで、さっき今井委員もおっしゃっていた、仲良くというのがなかなか感じにくいところがあって、決して馴れ合いということではなくて、きちっとした意見交換を前向きに、正しくというか、よいと思われるまちづくり、よい弥富市をつくるためのよいと思うことを念頭にいろいろ話し合いをもっと深めていければ、それを仲良く議論する。駄目なものは駄目、よいと思うのはもっと頑張ってもらいたいな。市民のほうにも、逆に行政から、市民もこういうことをしっかりお願いしますよというの、どんどん言ってもらったほうがいいと思うんですけど、そういう意味で、距離感をぜひ近づけていただきたい。先日も、教育長、教育部長をはじめ、うちの地元の自治会に今</p>

回の小学校の統合の説明会にお見えになっていただいて、詳しく説明をいただいて、説明会も市役所でやるよという、なかなかみんな行かないんですよね。そうすると興味ある人しか行かない、逆に何か言ってやろうという人しか行かないけど、でも、ああやって来ていただいて、自治会単位ぐらいのコミュニティに来てもらおうと、自治会のことだからということで、聞く人も増えるんですね。聞くと、そういうことかと、あの場でも結構最初、厳しい意見もありましたけど、きっちり説明していただくことで、何となく納得感が生まれてというところは、実際そういう体感をしているので、ついこの間も。だから、やっぱりあの機会ってすごくいいし、大事だなと思うので、本当にそれをもっと進めていただきたいというところですよ。

もう一つは、これもつながることですけど、審議会を通して、参考にするデータがどうしてもワークショップの提言だったり、市民アンケートだったり、あとパブリックコメントだったり、この場のメンバーだったりするんですけど、少数意見とか、マスの意見が本当につかみづらいなというところを感じていて、言いたい人が言う意見が本当に市民全体が考えていることなのか、個人的なところでものを言いやってしまっているのか、そこもつかみづらいというか、極端な少数意見にやっぱり引っ張られてしまうと、どこかおかしくなってしまうというところもあるので、この場で私の言ったことも含めですけども、そういった部分では市民みんなが考えていることをそれぞれ多様性なので、みんないろんな意見を持っていると思うので、それをいかに最大公約数というか、本当にいいところを拾ってもらったらいいかなと思う次第です。

長くなってすみません。自分にも関わることなんですけど、総合計画が市民に伝わる、市民が理解する、分かる計画になってほしいということで参加していますというのを最初に挨拶したと思うんですけど、なので、知ってもらう、伝えるという機会はたくさんしていただきながら、自分自身もこういうことがきちっと周りの人たちに伝えられるように、今後も意識していきたいなと思いますし、審議会の皆さんもぜひいっぱいいろんなところで話ししてください。弥富市いいところだよ、頑張っていますよとみんな伝えていきましょう。だから、この会議テーブルもすごい堅苦しくなるんで、入江先生もおっしゃっていましたが、この形態ももっと近いところで、混ぜこぜで会議もできるというかなと思ったり、とにかく一緒になって頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

事務局（佐藤企画政策課長）

ありがとうございました。
次に、入江委員、お願いいたします。

入江委員

入江です。
皆様、長きにわたっての御審議ありがとうございました。特に、委員の皆様方、お忙しい中、時間をつくって、こうやって参加してくださったこのメンバーでなければこういった議論は生まれなかったと思いますし、こういった計画が出来上がらなかったなと思っています。いろいろな自治体で、こういった審議会に参加させていただく機会があるのですが、中でも、後期の基本計画をつくるという過程で、これだけしっかりと議論がなさ

れたというのは、私はあまり経験がありませんで、非常に市民の皆様、委員の皆様から忌憚のない御意見がたくさん出て、それは非常に愛のこもった御意見だったんですね。先ほども、会長からもありましたけれども、時間いっぱいまでと。まだまだ時間が続けばもっと続いたんじゃないかと思えますけれども、非常に活発な議論が、意見交換があったということは非常に素晴らしいなと思っていました。

それというのは、この場で、小さい場ですけれども、一つには、民主主義がここで実現できたんだと私は思っていますし、まさに市民協働ってこういうところからだなと思っていました。ですので、先ほど鈴木委員のお話にもありましたけれども、なかなか市民と行政との距離感が詰まっていけないことがあると思いますが、市民は、行政の方から見て、対立の相手じゃなくって、対話の相手ですよ。市民の方お一人お一人が知恵を持って、情報を持って、各地で活躍してくださったならば、市というのもあつという間に皆さんにとって住みやすいものになるんじゃないかと思っていますので、ここに参画してくださった委員の方お一人お一人が、それこそこの後期基本計画を携えてまちに出て行かれて、こんなのができたよとか、これに参画したよとぜひ広めて、宣伝部長になっていただきたいなと切に思っているところです。

それから、行政の皆様方にも一言お礼を申し上げたいと思います。市長をはじめ、お忙しい中、各部長、皆様が毎回こうやってそろって会議に出席していただきましたこと、本当に厚く御礼申し上げます。この後期基本計画ができたということですが、それは市民との間での約束だと思えますし、また、御自身の職場に帰られましたならば、職場の中での皆さんでの目標になるんだろうと思います。

私、個人的な専門としては、最近、組織の中でも人材育成ですとか、そういうことに関わっていますので、そういう観点から少しだけお話をさせていただきたいと思うんですけども、組織の中で、価値を実現していくのは人なんですよ。一人ひとりの職員の方のお力だと思います。やはり一人ひとりのお力をつけて、それを組織全体の力にしていくことが一番の近道だと思います。その中でもやっぱりリーダーシップを取っていただいて、長の持つ発信力、メッセージ性、そういったことが大変大きいと思っています。また、ミドルマネジメント、部長の方々の発信力、マネジメント力、そういうことも非常に問われてくることになっています。ですので、ぜひ皆様方、ここでの御議論を一緒に共有していただきましたので、職場にお持ち帰りいただいて、こういう後期計画ができたけれども、一緒にみんなで達成していこうという形で、皆さんと一緒に日々のお仕事の中で反映をしていただきたいなと切に願っております。

また、最後になりましたけれども、藤井会長、本当にありがとうございました。会長の御手腕とお人柄がなければ、こういうふうにとまらなかつたなと思っています。本当にありがとうございました。お疲れさまでございました。

以上です。

事務局（佐藤企画政策課長）

ありがとうございました。
藤井会長、よろしく願いいたします。

<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。入江委員から言っていたいて、非常に恐縮しているところでございますが、私は会長という立場で発言させていただく機会はたくさんございまして、最後は、会長ではなく個人としての感想というところをお伝えできればと思っております。何より皆さんが申し上げたのと同じように、この機会に参加できて、一緒に考えられたことが、私にとっても貴重な経験になりましたし、非常に成長させていただける場であったなというところで、本当に委員の皆様をはじめ、弥富市役所の皆様には御礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>そして、もう委員の皆さんがいろんなことをお話されていたので、それ以上のことは私が申し上げることもないんですが、計画ができて、少し肩の荷が下りて、ほっとしているところではありますが、これをどう実行していくかというところが大事になってくる部分であります。その意味で、私は大学の中で、社会連携というセクションの中で、どう違う組織の中で協力しながら物事を進めていけるかということを考えておりますので、今、委員の皆様のお話を聞くと、たくさんの御見識と御経験がある皆様方がこれだけいらっしゃる弥富市の中で、この計画をどう協働しながら進めていけるのかというところを、もちろん私が答えを持ってこうすべきだと今言えるわけではないですけれども、より力が集まってくれば、よりすばらしい計画の推進になるのではないかなと思っておりますので、皆さんでこの計画を進めていくことが何より大切なことだと思いました。本当に2年間にわたり、ありがとうございました。</p>
<p>事務局（佐藤企画政策課長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、大変長期間にわたり御審議等をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>本日の答申をもちまして、市長の諮問に係る調査審議が終了いたしましたので、皆様に委嘱させていただいております弥富市総合計画審議会委員を解職させていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>なお、最終的に冊子が出来上がりしましたら、郵送にてお送りさせていただきます。時期は3月下旬頃を予定しておりますので、しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上となりますが、全体を通して何か御意見、御質問等はよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、藤井会長をはじめ、委員の皆様方には、第1回の審議会を開催しました一昨年の8月29日から本日の第8回にわたり、慎重審議をいただきました。年度替わりで一部の委員の皆様が交代され、新たな顔ぶれとなりましたが、引き続き答申に向け、御議論をいただきました。皆様の思いを含んだこの計画が絵に描いた餅にならぬよう、毎年度作成しております総合計画実施計画及び施策評価、事務事業評価において適切に管理し、まちづくりを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、委員の皆様におかれましても、それぞれのお立場で引き続きお力添えをお願いいたします。</p>

	<p>事務局の至らぬ点多々あったと存じますが、御容赦いただければ幸いです。最後になりますが、長期間にわたり、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。</p> <p>以上をもちまして、弥富市総合計画審議会を閉会させていただきます。本当にどうもありがとうございました。</p>
--	--